

電算処理医薬品マスタ（注意：本報告書では注30ページ分抜粋）、資料8に同診療行為マスタ（注意：本報告書では20ページ分抜粋）、資料9にコメントマスタを掲載する。

C-2. 診断群分類を活用した診療プロセス可視化モデルの作成とクリニカルパス・バリエーション分析への応用

①パスの時系列DPC拡張コードと患者別時系列DPC拡張コード

パスに設定されているタスクをDPC拡張コードで表現すると3種類で表現された。060330xx0000x000001（食事のみを表す）が手術相対日・1・2・3・4日目に表現された。060330xx0000x101001（輸液・採血・食事を表す）が1日目に表現された。060330xx01000x110000（手術・輸液・抗生剤を表す）が0日目に表現された。表の縦にDPC拡張コードの種類、横に手術相対日と取り、DPC拡張コードの出現日を塗りつぶすことで、パスに予定された診療プロセスをマスの形で表現した（図7上）。患者別のDPC拡張コードは、パスと同様に手術相対日ごとの出現をマスの形で表現した。

炎症がない胆嚢疾患では、マスの形がパスと同じ形をした患者が散見され、パスに沿って診療が経過した患者が多いことが概観できた（図7左）。炎症がある胆嚢疾患では、マスの形がパスと異なる患者が概観できた。DPC拡張コードの種類がパスより多いなど、パスと患者別の診療プロセスが一致しない患者が多いことが概観できた（図7右）。パスと患者別のDPC拡張コードを“形”で比較できたことで、パスと患者別の診療プロセスの一致具合を概観できた。

②バリエーションに影響を与える要因の検証結果

(1) 患者要因

①性別；男性は不一致13人（52.0%）、女性は不

一致14人（48.3%）で、一致・不一致の割合にばらつきは見られなかった（ $\chi^2=0.372$ 、 $P=0.592$ ）。

②年齢；65歳未満は不一致18人（43.9%）、65歳以上は不一致9人（69.2%）で、一致・不一致の割合にばらつきが見られた（ $\chi^2=5.856$ 、 $P=0.024$ ）。

③入院経路；予定入院は不一致17人（41.5%）、緊急入院は不一致10人（76.9%）で、一致・不一致の割合にばらつきが見られた（ $\chi^2=5.856$ 、 $P=0.024$ ）。

④炎症の有無；炎症なしは不一致14人（41.2%）、炎症ありは不一致13人（65.0%）で、一致・不一致の割合にばらつきが見られた（ $\chi^2=4.864$ 、 $P=0.046$ ）。

⑤CCI併存症の有無；併存症なしは不一致20人（43.5%）、併存症ありは不一致7人（87.5%）で、一致・不一致の割合にばらつきは見られなかった（ $\chi^2=3.881$ 、 $P=0.063$ ）（図8）。

(2) 施設要因

①手術実施曜日；月・火曜日は不一致12人（63.2%）、他の曜日は不一致15人（42.9%）で、一致・不一致の割合にばらつきは見られなかった（ $\chi^2=1.965$ 、 $P=0.252$ ）。

②医師の経験年数；20年未満は不一致19人（50.0%）、20年以上は不一致8人（50.0%）で、一致・不一致の割合にばらつきは見られなかった（ $\chi^2=0.284$ 、 $P=0.765$ ）（図9）。

(3) 診療行為の時系列的出現割合の可視化

非炎症例と炎症例に区別して表を作成した。対象患者の80%以上に出現した診療行為は、どちらもパスと一致した。輸液、抗生剤、採血、他の検査、画像のそれぞれについて、非炎症例よりも炎症例の方が出現日および出現割合にばらつきがみられた（図10）。

D. 考察

本研究作業によってもたらされる意義と残さ

れた課題を述べる。

D-1. マスタ更新の基本的考え方と作業モデルの意義と課題

診断群分類定義テーブル記載された手術処置情報は、その新規医薬品や診療行為の出現で時々刻々と変化するものである。新しい手術コードが保険記載されるなら、診断群分類上で妥当な疾患群に対して妥当な手術処置コードが保険改定年とは独立に定義される。一方で、同時にDPC基礎調査は毎年行われており、施設から提出されるデータもその保険記載に即したもので、診断群分類番号付与にせよ診療プロセス分析にせよ、マスタ精度管理に最大限の関心をはらわなくては行けない。本来はこのようなマスタは行政によって一元管理され、公開されてしかるべきものであるが、今なおその動きは見受けられない。

またDPCの中で保険請求業務を行う場合、何故その診断群分類番号になったのかの根拠資料作成は施設にとって必須であるとする。なぜなら、患者臨床情報と診療行為情報から診断群分類番号が作成されるはずであるので、請求項目と診断群分類番号との一致性に審査支払機関などは関心を払うはずであるからであり、一方で厚生労働省もこのマスタとその精度管理に関心をもつべきと考える。

実際、堀口らは、筆者らが開発した19年度マスタを活用し、平成19年度の様式1、EFファイルから付与された診断群分類番号付与とDPC請求で付与されたDファイルとのギャップ分析を行い、不一致割合が4.2%で、そのばらつきの大きな原因は手術処置2(2.2%)であることを指摘している。告示修正や適時な新規保険記載などの運用ルールの変更時期の考慮が不十分であるとの限界点はあるものの、審査への適用可能性と施設間比較のより公正な実施のために基礎的研究として意義のあることと考える。また堀口らの指摘にあるように、標準的なコーディングルールの必要性と、公的機関によるコーディング・ロジック

の諸外国並みの作成管理の必要性は極めて重要な課題として挙げられよう⁴。

D-2. 診断群分類を活用した診療プロセス可視化モデル作成とクリニカルパス・バリエーション分析の意義と課題

腹腔鏡下胆嚢摘出術を対象に従来の14ケタコードに加えて、パスで関心のある画像、検査、投薬などの情報を付加した「DPC 拡張コード」を作成し、診療プロセスの時系列情報をコードで表現することに成功した。更にこの応用として、パスと実際のDPC拡張コードの比較により、パスのバリエーション分析も実施できた。バリエーションの要因を検証したところ、年齢、入院緊急性、炎症において、ばらつきが見られた。ばらつきの一因である非炎症例と炎症例について、診療行為の出現割合を作成し、抗生剤や採血、画像などのばらつきを概観し、医師看護師らとの診療行為の検討に資する意義のある研究と思われた。

本試行はDPC調査対象全施設で実施可能であり、他の疾患・パスにも応用可能な意味で、一般化可能性があると考えられる。更に、診療プロセス移行状態をコード化し、パスや患者間の比較を可能としたことから、パスの妥当性の確認や、パス作成およびパス改訂の根拠として活用可能性が期待できる。例えば、バリエーションの要因が患者要因であるならばパス改訂の根拠となり、施設要因であるなら診療内容の改訂根拠となる可能性がある。

一方残された課題は以下の通りである。

(1) DPC 拡張コード作成の二値評価

DPC 拡張コードの作成は有無の二値評価で行ったため、医薬品名など詳細な診療行為を表現していない。レセプト電算コードレベルの詳細なコード化が可能である。しかし、フラグの種類を増やすことでDPC拡張コードの組み合わせ(種類)が増え、診療プロセスが概観できにくい可能性や、バリエーションが多発する可能性が考えられる。

バス作成担当者や担当外科医師と意見交換をはかりながら、可視化を優先すべきレセプト電算コードに絞り、DPC 拡張コードを作成することが必要だと考える。

(2) バリエーション分析結果の考察

バリエーション分析の結果から、非炎症例と炎症例で同一バスを適用する妥当性について、担当外科医師と議論できる可能性があると考えられる。入院緊急性は、炎症と関係していることが予想される。80%以上に出現した診療行為は、どちらもバスと一致したことから、当該診療行為は共通のバスで問題ないと考えられる。輸液、抗生剤、採血、他の検査、画像など、ばらつきが見られた診療行為は、バリエーションに影響が見られた年齢を中心に、併存症、医師、曜日などの影響を検討する必要があるのではないかと考えられる。これにより、炎症例のオプションバスとして提案できる可能性があると考えられる。

(3) 診療行為出現割合の考察

入院日から退院日まで時系列的に、全対象患者の診療行為出現割合を表現したことで、診療行為実態の全体像が概観できた。視覚的に実態を捉えることができるため、バスとの比較も容易であり、臨床支援と医療標準化推進のための極めて有意義な基礎資料になるであろうと考える。

診療行為の出現日がバスとずれる場合の患者状態への影響を検証した上で、一日間隔ではなく、出現日を術前期間・術日・術後期間に大きく集約した表現を検討するなど、今後の課題であると考えられる。この集約された形で各診療行為を見れば、入院外来を含めた診療パターン化の可視化、疾病 episode 単位の記述が可能となり、パターン化が認められれば、保険医療上でも大きな意義がもたらされることとなる。

(4) 正のバリエーションに関する考察

バスよりもDPC 拡張コードの種類や数量が少ない場合、即ち、バスよりも診療行為が少ない場合や在院日数が短い場合、正のバリエーションと判定した。少ない資源投入量あるいは短い期間でアウ

トカムが達成されたという考えである。しかし、疾患によっては患者安全上不可欠な診療行為が存在する場合がある。これに対応するには、分析対象バスで安全管理上必要なタスクに必須 DPC 拡張コードをフラグ化し、当該コードの出現患者と全対象患者の一致を確認することが今後残された課題である。

E. 結論

平成 20 年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間に経時的に更新されている診療報酬情報提供サービス情報を追跡収集した。平成 19 年度研究報告した医薬品、診療行為、特定機材に関するレセプト電算コード情報を記述した『DPC 分析用マスターテーブル』に対して、平成 20 年度に新規追加または削除された情報を履歴として残しながら、そのマスターテーブルの作成更新を行った。平成 20 年度 DPC 電子点数表に対応した手術、手術処置 1 及び 2 の診療行為、化学療法をレセプト電算コードで表現した。

次に、レセプト電算コード活用事例として、ある民間施設の腹腔鏡胆嚢摘出患者例を選び、DPC 基礎調査にある様式 1、EF ファイルを活用し、診断群分類番号 14 ケタに加えて関心のある医療行為を表現した 20 桁の DPC 拡張コードの時系列表現に成功した。このモデルをバスに応用し、実際の診療行為とバスに指示されたタスクのバリエーション分析を行った。本研究における診療プロセス可視化およびバリエーション分析は、臨床支援に繋がることが確認できた。作成作業の更なる効率化、DPC データ以外の臨床データとのリンクなどが今後の課題である。

F. 健康危険情報

とくになし

G. 研究発表

田崎 年晃 診断群分類を活用した診療プロセス

ス可視化モデルの作成とクリニカルパス・バリエーション分析への応用 第46回日本医療・病院管理学会学術総会口演発表(2008年11月15日)

H.知的所有権の取得状況

該当せず

I.参考資料

1. 桑原 一彰 松田 晋哉包括支払方式が医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究(H19-政策-指定-001) 別冊5 DPC 分析用データセットの作成・開発
2. 平成20年度第2回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 7月30日 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/07/dl/s0730-17a.pdf>
3. 平成20年度第8回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 12月17日 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/12/dl/s1217-7b.pdf>
4. 堀口 裕正 標準DPCコーディング・ロジックの開発 医療情報学 28(2) (in press).
5. 桑原 一彰 DPC 基礎調査における化学療法データの質の検証 第34回日本診療録管理学会学術大会
6. 久富 洋子 基礎調査における E,F ファイルデータの検証～レセプト電算コードデータの質の観点～ 第34回日本診療録管理学会学術大会
7. 保険薬辞典. Plus+ じほう 平成20月、東京
8. 水島 祐 編集. 今日の治療薬 2008 南江堂 平成20年1月 東京
9. 水島 祐 編集. 今日の治療薬 2009 南江堂 平成21年1月 東京
10. 藤森研司、中島稔博、DPC データ分析入門、東京:じほう、2007.
11. Sundararajan S, et al. Cross-National Comparative Performance of Three Versions of the ICD-10 Charlson Index Med Care 2007;45: 1210-1215.

図1

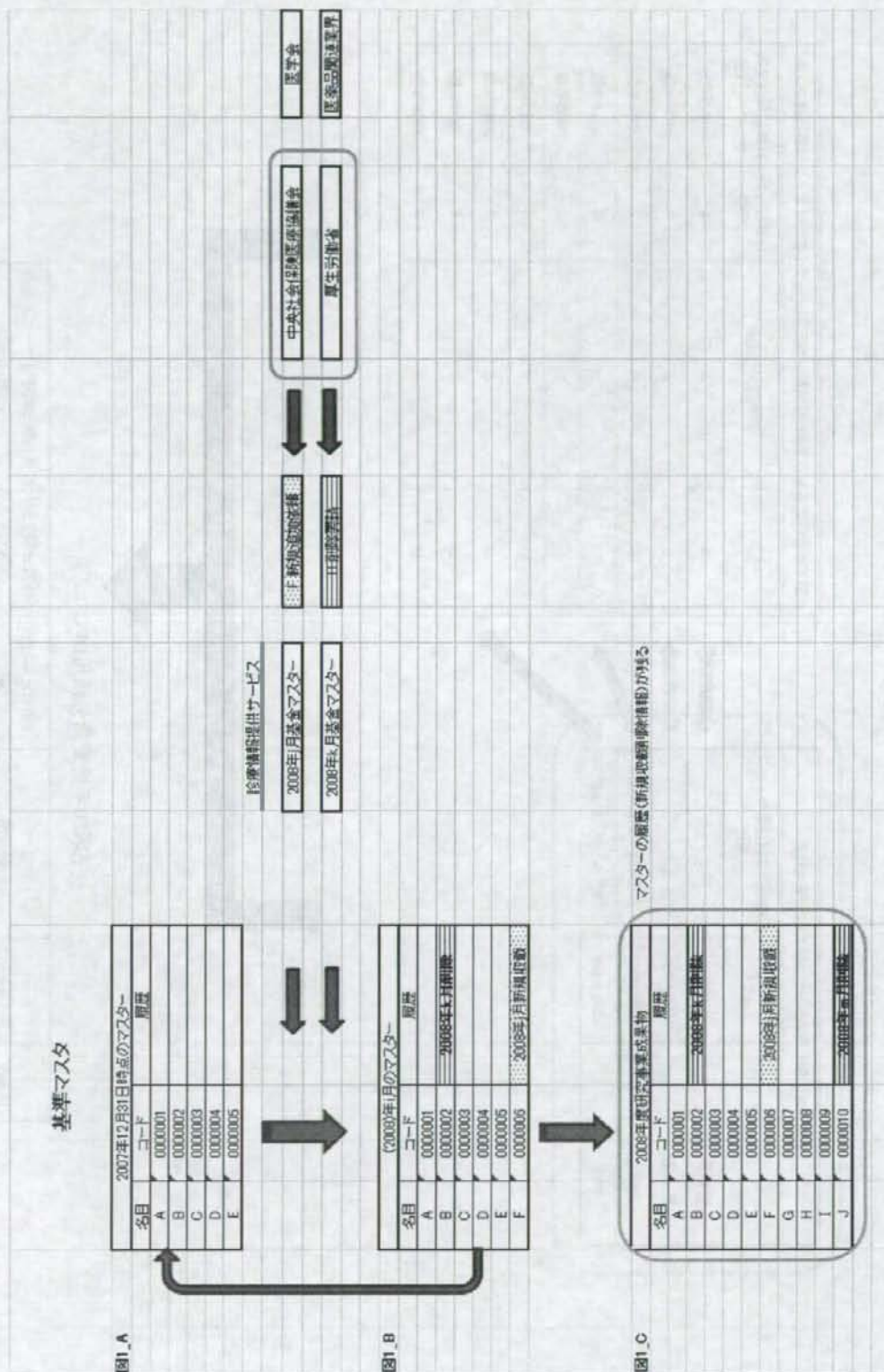


図2

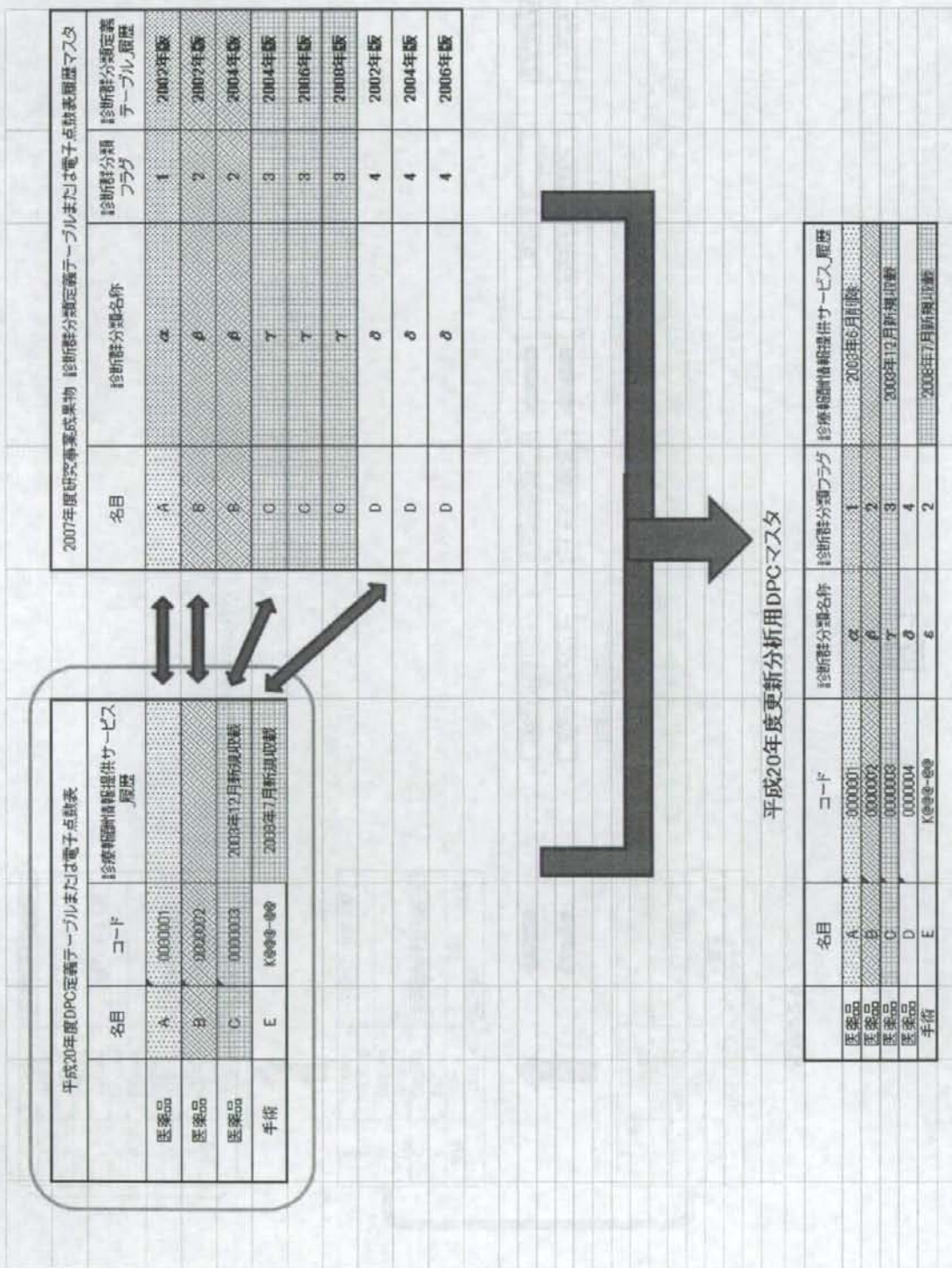


図3 DPC拡張コード作成の概要

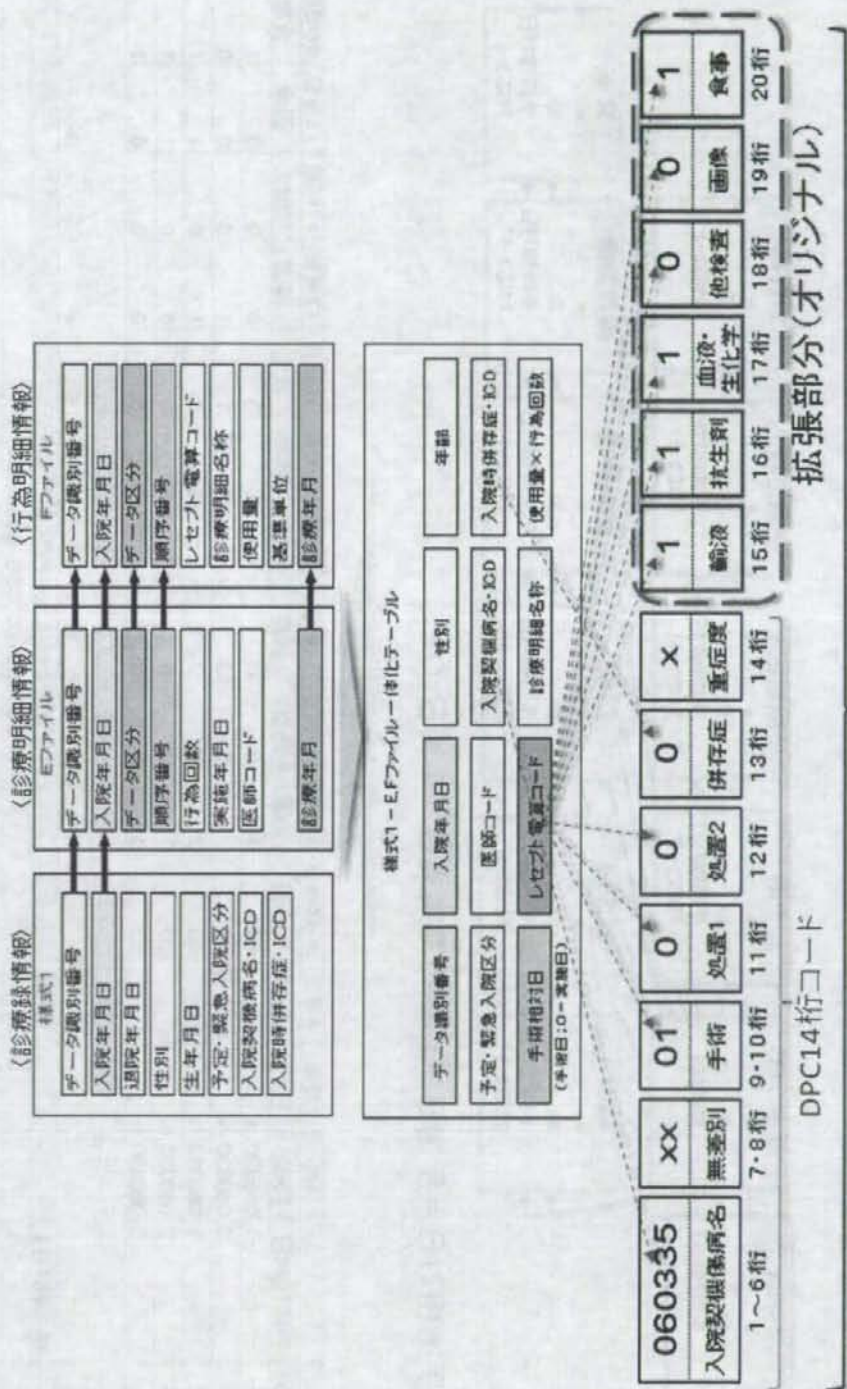
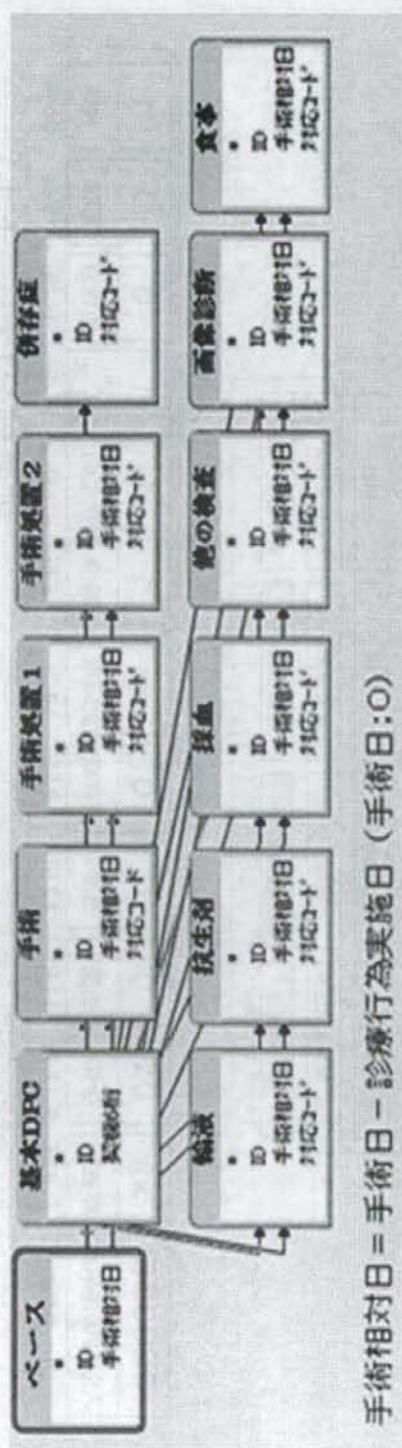


図4 DPC拡張コード作成モデル



ID	手術相対日	6日	7日	8日	9-10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
01	-1	060330	x	x	00	0	0	0	x	0	0	0	0	0	0
01	0	060330	x	x	01	0	0	0	x	1	1	0	0	0	0
01	1	060330	x	x	00	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
01	2	060330	x	x	00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
01	3	060330	x	x	00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

ID	手術相対日	DPC拡張コード(20桁)
01	-1	060330...00000...000001
01	0	060330...01000...111000
01	1	060330...00000...101011
01	2	060330...00000...000011
01	3	060330...00000...000001

図5 タスクテーブル作成の具体例

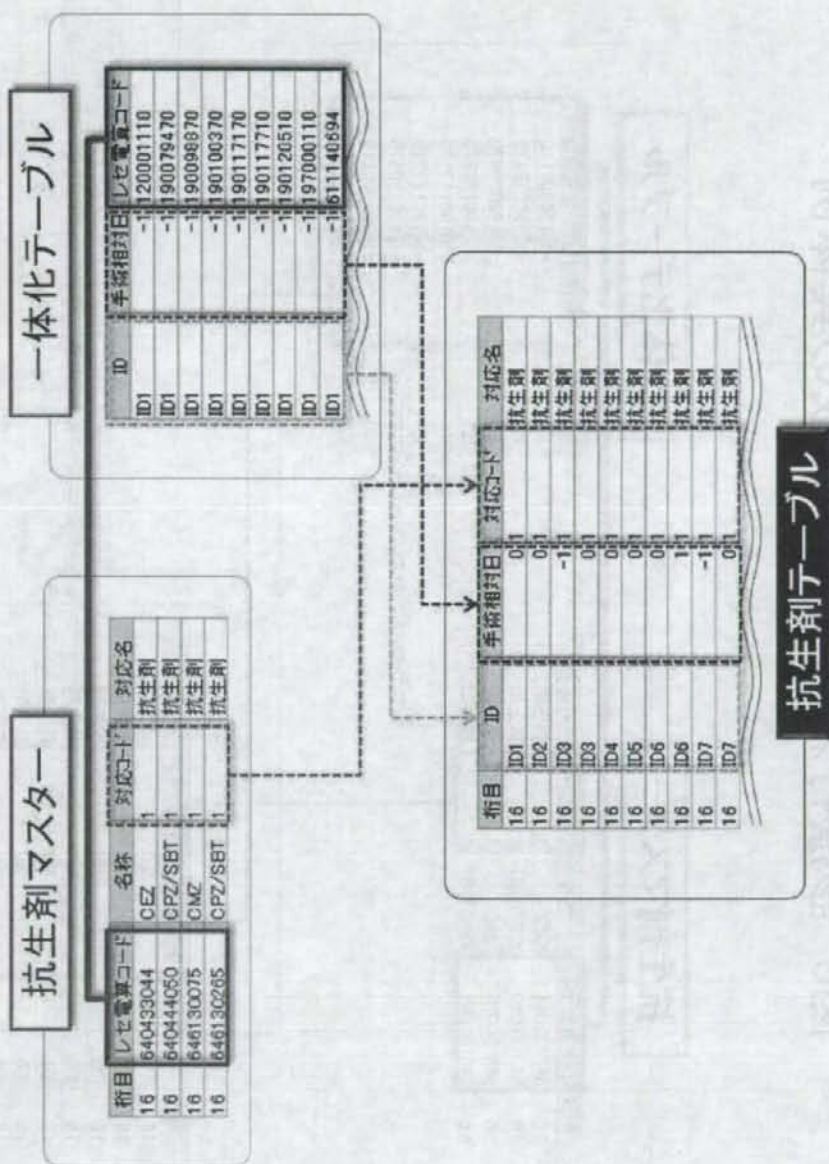


図6 診療行為為出現割合作成の具体例

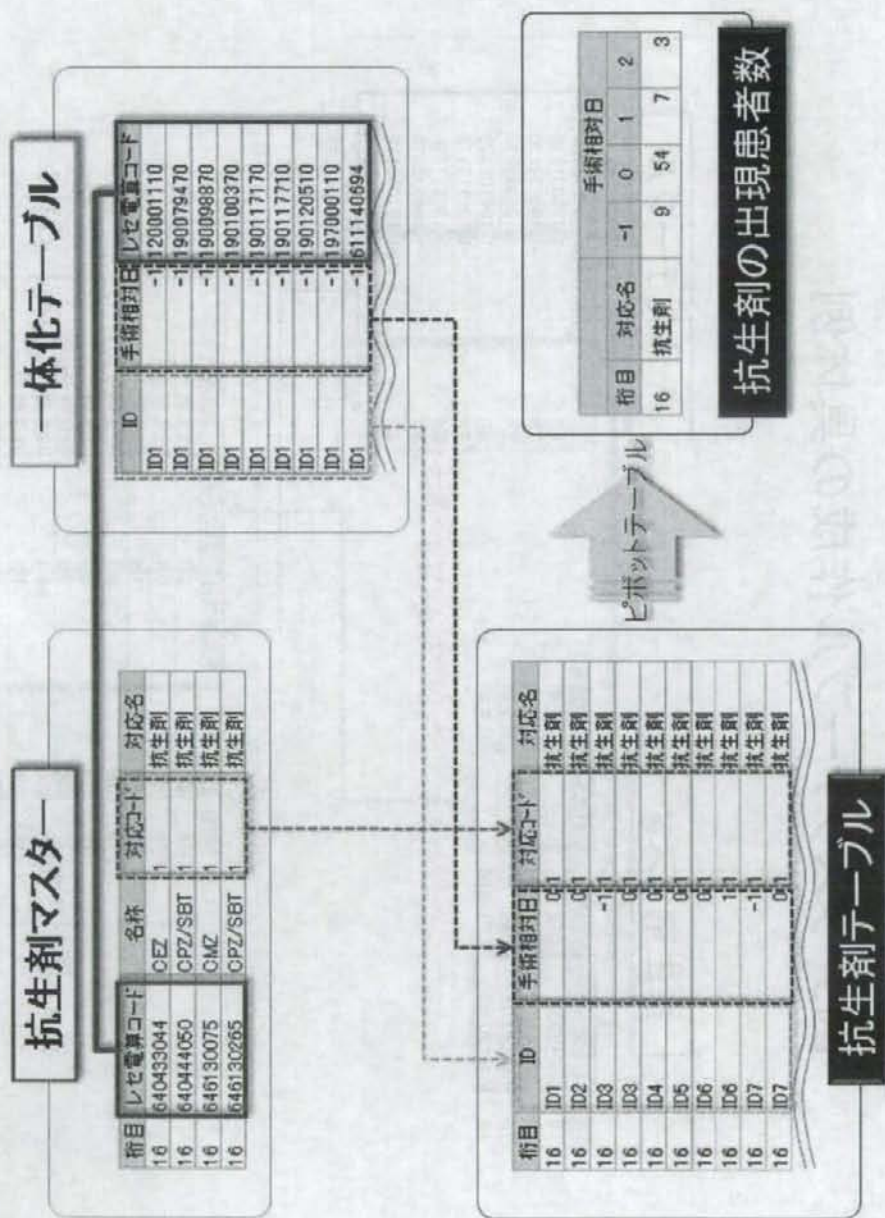


図7 パスと患者別のDPC拡張コード

パスのDPC拡張コード表現

		手術相対日					
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4
060330	xxxx000000x0000001						
060330	xxxx000000x101001						
060330	xxxx000000x101001						
060330	xxxx000000x110000						

		手術相対日						
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4	5
E0A	060330xxxx000000x0000001							
E0B	060330xxxx000000x101001							
E0C	060330xxxx000000x101001							
E0D	060330xxxx000000x110000							
E0E	060330xxxx000000x101001							
E0F	060330xxxx000000x110000							
E0G	060330xxxx000000x101001							
E0H	060330xxxx000000x110000							
E0I	060330xxxx000000x0000001							
E0J	060330xxxx000000x101001							
E0K	060330xxxx000000x110000							

		手術相対日						
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4	5
E0A	060335xxxx000000x0000001							
E0B	060335xxxx000000x101001							
E0C	060335xxxx000000x101001							
E0D	060335xxxx000000x110000							
E0E	060335xxxx000000x0000001							
E0F	060335xxxx000000x101001							
E0G	060335xxxx000000x110110							
E0H	060335xxxx000000x110000							
E0I	060335xxxx000000x0000001							
E0J	060335xxxx000000x101001							
E0K	060335xxxx000000x110110							
E0L	060335xxxx000000x110000							

		手術相対日						
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4	5
E0A	060335xxxx000000x0000001							
E0B	060335xxxx000000x101001							
E0C	060335xxxx000000x101001							
E0D	060335xxxx000000x110000							
E0E	060335xxxx000000x0000001							
E0F	060335xxxx000000x101001							
E0G	060335xxxx000000x110110							
E0H	060335xxxx000000x110000							
E0I	060335xxxx000000x0000001							
E0J	060335xxxx000000x101001							
E0K	060335xxxx000000x110110							
E0L	060335xxxx000000x110000							

		手術相対日						
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4	5
E0A	060330xxxx000000x0000001							
E0B	060330xxxx000000x101001							
E0C	060330xxxx000000x101001							
E0D	060330xxxx000000x110000							
E0E	060330xxxx000000x0000001							
E0F	060330xxxx000000x101001							
E0G	060330xxxx000000x110000							
E0H	060330xxxx000000x101001							
E0I	060330xxxx000000x0000001							
E0J	060330xxxx000000x101001							
E0K	060330xxxx000000x110000							

		手術相対日						
DPC拡張コード(20桁)		-1	0	1	2	3	4	5
E0A	060335xxxx000000x0000001							
E0B	060335xxxx000000x101001							
E0C	060335xxxx000000x101001							
E0D	060335xxxx000000x110000							
E0E	060335xxxx000000x0000001							
E0F	060335xxxx000000x101001							
E0G	060335xxxx000000x110110							
E0H	060335xxxx000000x110000							
E0I	060335xxxx000000x0000001							
E0J	060335xxxx000000x101001							
E0K	060335xxxx000000x110110							
E0L	060335xxxx000000x110000							

060330 『明彦洋串 (船登結石など) I : 24人』

060335 『明彦水腫 明彦公I・29人』

図8 バリアンス分析(患者要因)

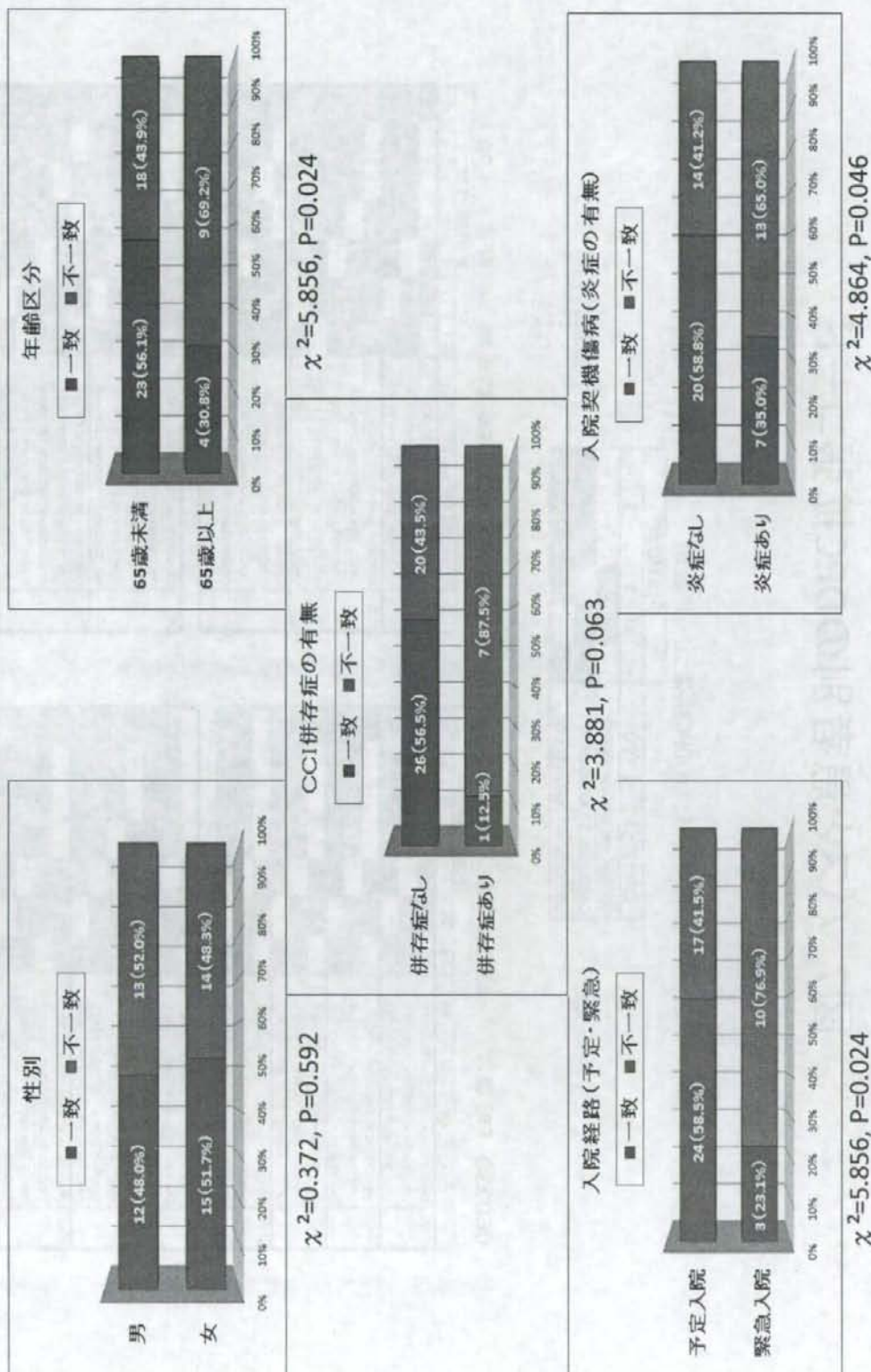
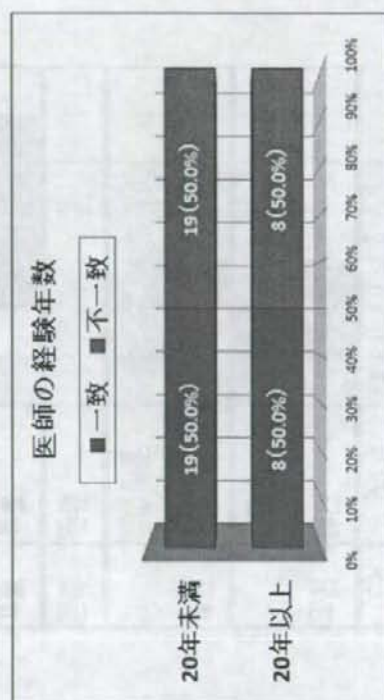
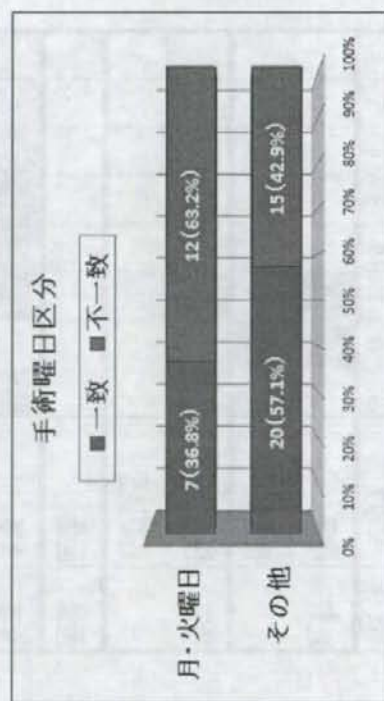


図9 バリアンス分析(施設要因)

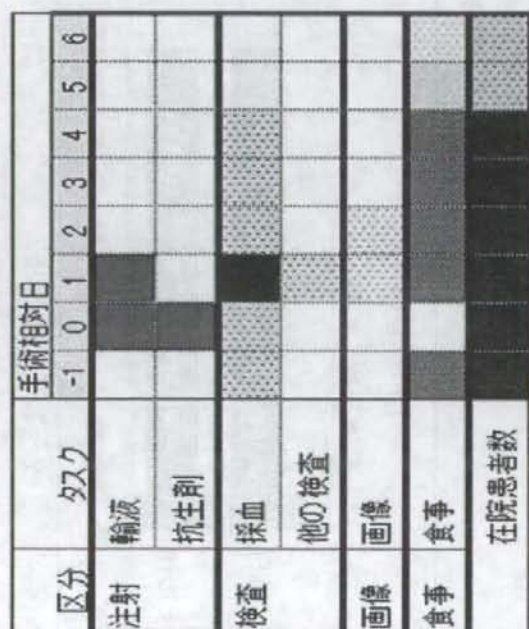


Fisher's exact test.

図10 診療行為の時系列的出現割合

腹腔鏡下胆嚢摘出術

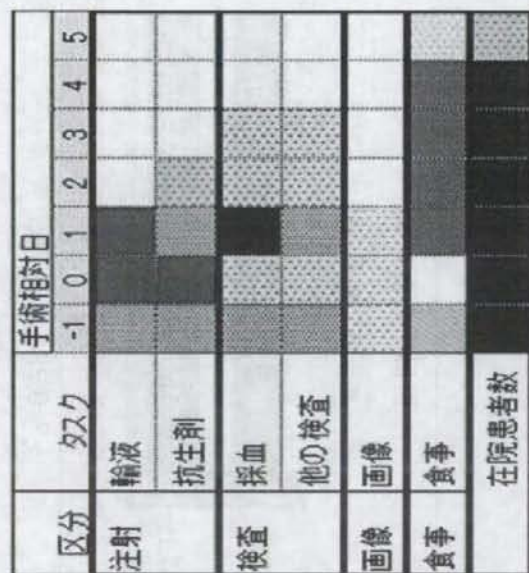
【非炎症例】



■ 80%以上

■ 50%以上~80%未満

【炎症例】



■ 20%以上~50%未満

■ 20%未満

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150001250	創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径5cm未満)	K0001	
150146350	自家血管採取料	K0002	
150001310	創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径5cm以上10cm未満)	K0002	
150306910	小児創傷処理(筋肉、臓器に達する、長径2.5cm未満)	K000-21	
150307010	小児創傷処理(筋肉、臓器に達する、長径2.5cm~5cm未満)	K000-22	
150146450	小児自家血管採取料	K000-23	
150307110	小児創傷処理(筋肉、臓器に達する、長径5cm~10cm未満)	K000-23	
150307210	小児創傷処理(筋肉、臓器に達する、長径10cm以上)	K000-24	
150307310	小児創傷処理(筋肉、臓器に達しない、長径2.5cm未満)	K000-25	
150307410	小児創傷処理(筋肉、臓器に達しない、長径2.5cm~5cm未満)	K000-26	
150307510	小児創傷処理(筋肉、臓器に達しない、長径5cm~10cm未満)	K000-27	
150307610	小児創傷処理(筋肉、臓器に達しない、長径10cm以上)	K000-28	
150283910	創傷処理(筋肉、臓器に達する)(長径10cm以上)	K0003	
150001010	創傷処理(筋肉、臓器に達しない)(長径5cm未満)	K0004	
150001110	創傷処理(筋肉、臓器に達しない)(長径5cm以上10cm未満)	K0005	
150284010	創傷処理(筋肉、臓器に達しない)(長径10cm以上)	K0006	
150001810	皮膚切開術(長径10cm未満)	K0011	
150001910	皮膚切開術(長径10cm以上20cm未満)	K0012	
150002010	皮膚切開術(長径20cm以上)	K0013	
150002210	デブリードマン(100cm2未満)	K0021	
150002310	デブリードマン(100cm2以上3000cm2未満)	K0022	
150002410	デブリードマン(3000cm2以上)	K0023	
150002510	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部、長径3cm未満)	K0031	
150002610	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部、長径3cm以上6cm未満)	K0032	
150283610	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部、長径6cm以上)	K0033	
150280710	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部以外、長径3cm未満)	K0041	
150280810	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部以外、長径3cm以上6cm未満)	K0042	
150283710	皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出(露出部以外、長径6cm以上)	K0043	
150003110	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	K0051	
150003210	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm以上4cm未満)	K0052	
150272410	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径4cm以上)	K0053	
150003510	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	K0061	
150003610	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm以上6cm未満)	K0062	
150272510	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径6cm以上)	K0063	
150333510	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径3cm未満の良性皮膚腫瘍)	K006-41	
150004050	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径3cm未満の悪性皮膚腫瘍)	K006-42	
150004150	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径3cm以上6cm未満の悪性皮膚腫瘍)	K006-43	
150333610	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径3cm以上6cm未満の良性皮膚腫瘍)	K006-43	
150282950	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径6cm以上の悪性皮膚腫瘍)	K006-44	
150282850	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(長径6cm以上の良性皮膚腫瘍)	K006-44	
150004210	皮膚悪性腫瘍切除術(広汎切除)	K0071	
150004450	下肢切断術及び股部リンパ節清掃(広汎切除)	K0072	20020331
150270650	下肢切断術及び股部リンパ節清掃(単純切除)	K0072	20020331
150280910	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	K0072	
150004510	腋臭症手術(皮弁法)	K0081	
150308310	腋臭症手術(皮膚有毛部切除術)	K0082	
150252110	腋臭症手術(その他)	K0083	
150004610	皮膚剝削術(25cm2未満)	K0091	
150004710	皮膚剝削術(25cm2以上100cm2未満)	K0092	
150272610	皮膚剝削術(100cm2以上200cm2未満)	K0093	
150283810	皮膚剝削術(200cm2以上)	K0094	
150004810	瘻痕拘縮形成手術(顔面)	K0101	
150004910	瘻痕拘縮形成手術(その他)	K0102	
150005010	顔面神経麻痺形成手術(静的)	K0111	
150005110	顔面神経麻痺形成手術(動的)	K0112	
150006410	分層植皮術(25cm2未満)	K0131	
150006510	分層植皮術(25cm2以上100cm2未満)	K0132	
150333710	全層植皮術(25cm2未満)	K013-21	

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150333810	全層植皮術(25cm ² 以上100cm ² 未満)	K013-22	
150333910	全層植皮術(100cm ² 以上200cm ² 未満)	K013-23	
150334010	全層植皮術(200cm ² 以上)	K013-24	
150006610	分層植皮術(100cm ² 以上200cm ² 未満)	K0133	
150006710	分層植皮術(200cm ² 以上)	K0134	
150007810	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術(25cm ² 未満)	K0151	
150007910	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術(25~100cm ² 未満)	K0152	
150008010	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術(100cm ² 以上)	K0153	
150009010	筋(皮)弁術	K016	
150008810	動脈(皮)弁術	K016	
150008910	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付き)	K017	
150009110	複合組織移植術	K019	
150009210	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付き)	K020	
150009310	粘膜移植術(4cm ² 未満)	K0211	
150308410	粘膜移植術(4cm ² 以上)	K0212	
150290310	粘膜弁手術(4cm ² 未満)	K021-21	
150290410	粘膜弁手術(4cm ² 以上)	K021-22	
150255510	組織拡張器による再建手術	K022	
150009510	筋膜切開術	K023	
150009410	筋膜切離術	K023	
150009610	筋切離術	K024	
150009710	股関節内転筋切離術	K025	
150009810	股関節筋群解離術	K026	
150010110	筋炎手術(大腿筋)	K0271	
150009910	筋炎手術(腸腰筋)	K0271	
150010010	筋炎手術(殿筋)	K0271	
150010210	筋炎手術(その他の筋)	K0272	
150288510	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	K028	
150010310	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)(指)	K028	
150010610	筋肉内異物摘出術	K029	
150011210	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(下腿)	K0301	
150308610	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(躯幹)	K0301	
150010810	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(肩)	K0301	
150010910	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(上腕)	K0301	
150011010	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(前腕)	K0301	
150011110	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(大腿)	K0301	
150011310	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(手)	K0302	
150011410	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(足)	K0302	
150011910	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(下腿)	K0311	
150308710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(躯幹)	K0311	
150011510	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(肩)	K0311	
150011610	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(上腕)	K0311	
150011710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(前腕)	K0311	
150011810	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(大腿)	K0311	
150012010	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(手)	K0312	
150012110	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術(足)	K0312	
150013110	筋膜移植術(指)	K0331	
150272910	筋膜移植術(その他)	K0332	
150288610	腱切離術・腱切除術(関節鏡下によるものを含む)	K034	
150010410	腱切離術・腱切除術(関節鏡下によるものを含む)(指)	K034	
150288710	腱剥離術(関節鏡下によるものを含む)	K035	
150010510	腱剥離術(関節鏡下によるものを含む)(指)	K035	
150300110	腱滑膜切除術	K035-2	
150288910	腱縫合術	K037	
150012310	腱縫合術(指)	K037	
150012750	腱縫合術(切創等の創傷)	K037	
150341150	腱縫合術(切創等の創傷)(6歳未満)	K037	
150289010	腱延長術	K038	

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150013210	腱延長術(指)	K038	
150273010	腱移植術(人工腱形成術を含む)(指)	K0391	
150013510	腱移植術(人工腱形成術を含む)(その他)	K0392	
150273110	腱移行術(指)	K0401	
150013410	腱移行術(その他)	K0402	
150013710	骨穿孔術	K042	
150013810	骨搔爬術(肩甲骨)	K0431	
150013910	骨搔爬術(上腕)	K0431	
150014010	骨搔爬術(大腿)	K0431	
150014210	骨搔爬術(下腿)	K0432	
150014110	骨搔爬術(前腕)	K0432	
150014750	骨関節結核膿孔摘出術(肩甲骨)	K043-21	
150014850	骨関節結核膿孔摘出術(上腕)	K043-21	
150014950	骨関節結核膿孔摘出術(大腿)	K043-21	
150015150	骨関節結核膿孔摘出術(下腿)	K043-22	
150015050	骨関節結核膿孔摘出術(前腕)	K043-22	
150015250	骨関節結核膿孔摘出術(鎖骨)	K043-23	
150015450	骨関節結核膿孔摘出術(手)	K043-23	
150015550	骨関節結核膿孔摘出術(足その他)	K043-23	
150015350	骨関節結核膿孔摘出術(膝蓋骨)	K043-23	
150014310	骨搔爬術(鎖骨)	K0433	
150014510	骨搔爬術(手)	K0433	
150014610	骨搔爬術(足その他)	K0433	
150014410	骨搔爬術(膝蓋骨)	K0433	
150015650	骨髄炎・骨結核手術(肩甲骨)	K043-31	
150015750	骨髄炎・骨結核手術(上腕)	K043-31	
150015850	骨髄炎・骨結核手術(大腿)	K043-31	
150016050	骨髄炎・骨結核手術(下腿)	K043-32	
150015950	骨髄炎・骨結核手術(前腕)	K043-32	
150016150	骨髄炎・骨結核手術(鎖骨)	K043-33	
150016350	骨髄炎・骨結核手術(手)	K043-33	
150016450	骨髄炎・骨結核手術(足その他)	K043-33	
150016250	骨髄炎・骨結核手術(膝蓋骨)	K043-33	
150016510	骨折非観血的整復術(肩甲骨)	K0441	
150016610	骨折非観血的整復術(上腕)	K0441	
150016710	骨折非観血的整復術(大腿)	K0441	
150016910	骨折非観血的整復術(下腿)	K0442	
150016810	骨折非観血的整復術(前腕)	K0442	
150017010	骨折非観血的整復術(鎖骨)	K0443	
150017210	骨折非観血的整復術(手)	K0443	
150017310	骨折非観血的整復術(足その他)	K0443	
150017110	骨折非観血的整復術(膝蓋骨)	K0443	
150280150	絆創膏固定術(膝関節靭帯損傷)	K0443	20020331
150018110	骨折経皮的鋼線刺入固定術(肩甲骨)	K0451	
150018210	骨折経皮的鋼線刺入固定術(上腕)	K0451	
150018310	骨折経皮的鋼線刺入固定術(大腿)	K0451	
150018510	骨折経皮的鋼線刺入固定術(下腿)	K0452	
150018410	骨折経皮的鋼線刺入固定術(前腕)	K0452	
150289110	骨折経皮的鋼線刺入固定術(その他)	K0453	
150018610	骨折経皮的鋼線刺入固定術(鎖骨)	K0453	
150261010	骨折経皮的鋼線刺入固定術(指)	K0453	
150018810	骨折経皮的鋼線刺入固定術(手)	K0453	
150018910	骨折経皮的鋼線刺入固定術(足)	K0453	
150018710	骨折経皮的鋼線刺入固定術(膝蓋骨)	K0453	
150019010	骨折観血的手術(肩甲骨)	K0461	
150019110	骨折観血的手術(上腕)	K0461	
150019210	骨折観血的手術(大腿)	K0461	
150019410	骨折観血的手術(下腿)	K0462	

資料1

H20年版診断群分類番号を付与するためのマスタ(手術)

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150294810	骨折親血の手術(手舟状骨)	K0462	
150019310	骨折親血の手術(前腕)	K0462	
150289210	骨折親血の手術(その他)	K0463	
150019510	骨折親血の手術(鎖骨)	K0463	
150261110	骨折親血の手術(指)	K0463	
150019710	骨折親血の手術(手(舟状骨を除く))	K0463	
150019810	骨折親血の手術(足)	K0463	
150019610	骨折親血の手術(膝蓋骨)	K0463	
150242910	難治性骨折電磁波電気治療法	K047	
150284110	難治性骨折超音波治療法	K047-2	
150334310	骨内異物(挿入物)除去術(顔面)	K0481	
150020510	骨内異物(挿入物)除去術(肩甲骨)	K0481	
150020610	骨内異物(挿入物)除去術(上腕)	K0481	
150020710	骨内異物(挿入物)除去術(大腿)	K0481	
150334210	骨内異物(挿入物)除去術(頭蓋)	K0481	
150020910	骨内異物(挿入物)除去術(下腿)	K0482	
150020810	骨内異物(挿入物)除去術(前腕)	K0482	
150289310	骨内異物(挿入物)除去術(その他)	K0483	
150021010	骨内異物(挿入物)除去術(鎖骨)	K0483	
150261210	骨内異物(挿入物)除去術(指)	K0483	
150021210	骨内異物(挿入物)除去術(手)	K0483	
150021310	骨内異物(挿入物)除去術(足)	K0483	
150021110	骨内異物(挿入物)除去術(膝蓋骨)	K0483	
150021410	骨部分切除術(肩甲骨)	K0491	
150021510	骨部分切除術(上腕)	K0491	
150021610	骨部分切除術(大腿)	K0491	
150021810	骨部分切除術(下腿)	K0492	
150021710	骨部分切除術(前腕)	K0492	
150022350	肩甲骨下端切除	K0493	20020331
150289410	骨部分切除術(その他)	K0493	
150021910	骨部分切除術(鎖骨)	K0493	
150261310	骨部分切除術(指)	K0493	
150022110	骨部分切除術(手)	K0493	
150022210	骨部分切除術(足)	K0493	
150022010	骨部分切除術(膝蓋骨)	K0493	
150022450	趾骨遠位端切除術	K0493	20020331
150022510	腐骨摘出術(肩甲骨)	K0501	
150022610	腐骨摘出術(上腕)	K0501	
150022710	腐骨摘出術(大腿)	K0501	
150022910	腐骨摘出術(下腿)	K0502	
150022810	腐骨摘出術(前腕)	K0502	
150023010	腐骨摘出術(鎖骨)	K0503	
150023210	腐骨摘出術(手)	K0503	
150023310	腐骨摘出術(足その他)	K0503	
150023110	腐骨摘出術(膝蓋骨)	K0503	
150023410	骨全摘術(肩甲骨)	K0511	
150023510	骨全摘術(上腕)	K0511	
150023610	骨全摘術(大腿)	K0511	
150023810	骨全摘術(下腿)	K0512	
150023710	骨全摘術(前腕)	K0512	
150024550	中手骨摘除術(2本以上)	K051-2	
150024650	中足骨摘除術(2本以上)	K051-2	
150023910	骨全摘術(鎖骨)	K0513	
150024110	骨全摘術(手)	K0513	
150024210	骨全摘術(足その他)	K0513	
150024010	骨全摘術(膝蓋骨)	K0513	
150024710	骨腫瘍切除術(肩甲骨)	K0521	
150024810	骨腫瘍切除術(上腕)	K0521	

資料1

H20年版診断群分類番号を付与するためのマスタ(手術)

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150024910	骨腫瘍切除術(大腿)	K0521	
150025110	骨腫瘍切除術(下腿)	K0522	
150025010	骨腫瘍切除術(前腕)	K0522	
150025650	多発性軟骨性外骨腫摘出術(肩甲骨)	K052-21	
150025750	多発性軟骨性外骨腫摘出術(上腕)	K052-21	
150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術(大腿)	K052-21	
150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術(下腿)	K052-22	
150025950	多発性軟骨性外骨腫摘出術(前腕)	K052-22	
150289650	多発性軟骨性外骨腫摘出術(その他)	K052-23	
150026150	多発性軟骨性外骨腫摘出術(鎖骨)	K052-23	
150269550	多発性軟骨性外骨腫摘出術(指)	K052-23	
150026350	多発性軟骨性外骨腫摘出術(手)	K052-23	
150026450	多発性軟骨性外骨腫摘出術(足)	K052-23	
150026250	多発性軟骨性外骨腫摘出術(膝蓋骨)	K052-23	
150289510	骨腫瘍切除術(その他)	K0523	
150025210	骨腫瘍切除術(鎖骨)	K0523	
150261410	骨腫瘍切除術(指)	K0523	
150025410	骨腫瘍切除術(手)	K0523	
150025510	骨腫瘍切除術(足)	K0523	
150025310	骨腫瘍切除術(膝蓋骨)	K0523	
150334410	多発性骨腫摘出術(肩甲骨)	K052-31	
150334510	多発性骨腫摘出術(上腕)	K052-31	
150334610	多発性骨腫摘出術(大腿)	K052-31	
150334810	多発性骨腫摘出術(下腿)	K052-32	
150334710	多発性骨腫摘出術(前腕)	K052-32	
150335410	多発性骨腫摘出術(その他)	K052-33	
150334910	多発性骨腫摘出術(鎖骨)	K052-33	
150335310	多発性骨腫摘出術(指)	K052-33	
150335110	多発性骨腫摘出術(手)	K052-33	
150335210	多発性骨腫摘出術(足)	K052-33	
150335010	多発性骨腫摘出術(膝蓋骨)	K052-33	
150026510	骨悪性腫瘍手術(肩甲骨)	K0531	
150026610	骨悪性腫瘍手術(上腕)	K0531	
150026710	骨悪性腫瘍手術(大腿)	K0531	
150026910	骨悪性腫瘍手術(下腿)	K0532	
150026810	骨悪性腫瘍手術(前腕)	K0532	
150027010	骨悪性腫瘍手術(鎖骨)	K0533	
150027210	骨悪性腫瘍手術(手)	K0533	
150027310	骨悪性腫瘍手術(足その他)	K0533	
150027110	骨悪性腫瘍手術(膝蓋骨)	K0533	
150027510	骨切り術(肩甲骨)	K0541	
150027610	骨切り術(上腕)	K0541	
150027710	骨切り術(大腿)	K0541	
150027910	骨切り術(下腿)	K0542	
150027810	骨切り術(前腕)	K0542	
150289710	骨切り術(その他)	K0543	
150028010	骨切り術(鎖骨)	K0543	
150261510	骨切り術(指)	K0543	
150028210	骨切り術(手)	K0543	
150028310	骨切り術(足)	K0543	
150028110	骨切り術(膝蓋骨)	K0543	
150308810	大腿骨頭回転骨切り術	K055-2	
150308910	大腿骨近位部(転子間を含む)骨切り術	K055-3	
150028610	偽関節手術(肩甲骨)	K0561	
150028710	偽関節手術(上腕)	K0561	
150028810	偽関節手術(大腿)	K0561	
150029010	偽関節手術(下腿)	K0562	
150309010	偽関節手術(手舟状骨)	K0562	

レセ電算コード	レセ電算名称	区分番号	有効期限
150028910	偽関節手術(前腕)	K0562	
150289810	偽関節手術(その他)	K0563	
150029110	偽関節手術(鎖骨)	K0563	
150261710	偽関節手術(指)	K0563	
150029310	偽関節手術(手(舟状骨を除く))	K0563	
150029410	偽関節手術(足)	K0563	
150029210	偽関節手術(膝蓋骨)	K0563	
150029610	変形治療骨折矯正手術(肩甲骨)	K0571	
150029710	変形治療骨折矯正手術(上腕)	K0571	
150029810	変形治療骨折矯正手術(大腿)	K0571	
150030010	変形治療骨折矯正手術(下腿)	K0572	
150029910	変形治療骨折矯正手術(前腕)	K0572	
150289910	変形治療骨折矯正手術(その他)	K0573	
150030110	変形治療骨折矯正手術(鎖骨)	K0573	
150261810	変形治療骨折矯正手術(指)	K0573	
150030310	変形治療骨折矯正手術(手)	K0573	
150030410	変形治療骨折矯正手術(足)	K0573	
150030210	変形治療骨折矯正手術(膝蓋骨)	K0573	
150031410	骨長調整手術(骨端軟骨発育抑制術)	K0581	
150031510	骨長調整手術(骨短縮術)	K0582	
150294910	骨長調整手術(骨延長術)(指)	K0583	
150031610	骨長調整手術(骨延長術)(指以外)	K0584	
150306150	骨移植術(移植用骨採取のみ)(自家骨移植)(その他)	K0591	
150306050	骨移植術(移植用骨採取のみ)(自家骨移植)(腸骨翼)	K0591	
150305950	骨移植術(移植用骨採取のみ)(自家骨移植)(棘突起)	K0591	
150295010	骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家骨移植)	K0591	
150341950	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(生体)(その他)	K0592	
150341850	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(生体)(腸骨翼)	K0592	
150341750	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(生体)(棘突起)	K0592	
150031710	骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種骨移植)(生体)	K0592	
150342250	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(非生体)(その他)	K0593	
150342150	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(非生体)(腸骨翼)	K0593	
150342050	骨移植術(移植用骨採取のみ)(同種骨移植)(非生体)(棘突起)	K0593	
150341250	骨移植術(軟骨移植術を含む)(人工骨移植)	K0593	
150335510	骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種骨移植)(非生体)	K0593	
150031910	関節切開術(肩)	K0601	
150032010	関節切開術(股)	K0601	
150032110	関節切開術(膝)	K0601	
150032210	関節切開術(胸鎖)	K0602	
150032410	関節切開術(手)	K0602	
150032510	関節切開術(足)	K0602	
150032310	関節切開術(肘)	K0602	
150032850	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術	K060-2	
150032610	関節切開術(肩鎖)	K0603	
150032710	関節切開術(指)	K0603	
150052850	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(肩)	K060-31	
150052950	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(股)	K060-31	
150053050	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(膝)	K060-31	
150309110	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(胸鎖)	K060-32	
150053250	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(手)	K060-32	
150053350	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(足)	K060-32	
150053150	化膿性関節炎又は結核性関節炎清掃術(肘)	K060-32	
150033810	関節脱臼非親血的整復術(肩)	K0611	
150033910	関節脱臼非親血的整復術(股)	K0611	
150034010	関節脱臼非親血的整復術(膝)	K0611	
150034110	関節脱臼非親血的整復術(胸鎖)	K0612	
150034310	関節脱臼非親血的整復術(手)	K0612	
150034410	関節脱臼非親血的整復術(足)	K0612	